

七ツ岳(432m)

【山行日】2019年9月11日(水曜日)天気 快晴

【交通・費用】羽田～福岡～(下五島)福江島=(飛)+(高速フェリー)

【ルート】七岳登山口公園～313mピーク～露岩(花崗斑岩)～山頂(往復)

●情報 登山口・駐車場について

七岳登山口公園 駐車場あり(車 5～7 台)

七嶽神社登山口 駐車場あり(車 3～4 台)

トイレ: 七岳登山口公園 水洗トイレ有 / 七嶽神社登山口 トイレ無

最寄りの温泉:玉之浦地区に荒川温泉(七岳登山口公園から車で10分) ※石鹸・シャンプーは持参する



<感想文>

五島列島は世界文化遺産に指定されて是非訪れてみたいエリアだった。でも、一番大きな福江島には遺産に指定された教会などの聖地がひとつもなく、あるのは、2番目に大きな上五島の中通島だ。前半は、文化遺産巡り、後半は下五島・福江島にフェリーで渡った。列島で一番大きな福江島に最高峰の父ヶ岳があり、七ツ岳とあわせてよく縦走されているようだ。また、五島で一番海の色が綺麗と言われている高浜や頓泊の砂浜が近くにある。地形図を調べてみると、父ヶ岳から頓泊の海岸までは大した距離がないので、行けそうな気がしたが、山行後に大瀬崎灯台に行ってみたかったのと、縦走した場合の車の回収が難しかったので、ピストンに切り替えた。今回は山旅というより半分以上の割で旅の要素が高い。

七ツの峰が鋸歯状に連なっている花崗岩でできた岩峰



狭い山頂



頓泊の海岸を望む

民宿からレンタカーで40分走ると右手に七ツ岳が見えてきた。七岳口で駐車し8時20分に到着、駐車場にはトイレも2つあり、水道も引いてあった。標高 155mの登山口を8時30分に出発。緩い登山道は直ぐに階段になり、ほどなく標高 200mから急坂を迎え 100mの高さを稼いだ。途中で目の前を四つ足の動物が横切っていった。物凄いスピード、猪のようだった。

天気が良く、東に福江島中央部の盆地と南西側の展望が良い。最初は檜林だったが、馬酔木や樅の樹などに植生が変わり、照葉樹の森が広がっている。目を向けると、父ヶ岳から東に伸びる山稜が正面から見える。緑一色で、同じ高さで連なっている。父ヶ岳の右手にはちょっとした岩稜帯が格好いい。



七つの山が連なる七ツ岳の遠景

313mのピークを過ぎると、いったん下って登り返す。ここからいくつか露岩が現れるが、頂上までに気を付ける箇所は2ヶ所だった。最後の岩稜を越えると、もうそこは山頂だった。9時30分到着、ちょうど1時間だ。狭—い！ 5—6人で一杯だ。しかし、高度感がある。また、荒川方面から玉之浦湾とその先の島山島、大瀬崎方面の山々が良く見える。垂直に切れた岩稜の脇からの風景も素敵だ。何といても海の色エメラルドグリーンにセルリアンブルーの美しさに息をのむ。鶯の鳴き声と周囲の緑の山々と青空、白雲、海の色に癒されるひとときが、五島列島の山の魅力だろう。眺めを満喫して下山、これまた40分位で、10時半には駐車場に着いてしまった。途中誰一人会わない静かな山だった。水道水で顔を洗って次の目的地・大瀬崎灯台に向かった。翌日は、校歌にも歌われている福江島のシンボル鬼島に登ったが、それはまたの次の機会に。